

岐阜県農業技術センターニュース No.62

交信攪乱剤によるフジコナカイガラムシ防除技術(病理昆虫部)

カキの重要害虫フジコナカイガラムシは、ヘタの下などに生息し、果実に「すす病」などを発生させる重要害虫です。本虫は隙間に多く生息し、体表面の口ウ物質で薬剤を弾き、幼虫発生時期の把握も難しいことから、化学農薬による防除が困難です。このフジコナカイガラムシに対し、性フェロモンを有効成分とする交信攪乱剤を用いた防除技術の開発に取組みましたので紹介します。

- 交信攪乱剤（ディスペンサー）の設置は、目通りの高さ（地上1.5m程度）の枝に巻き付けるだけです。農薬飛散の心配もなく、省力的で女性や高齢者も容易に作業できます。
- ディスペンサーを4月中旬に50～100本/10a設置することで交信攪乱が起き、雄成虫は雌成虫の位置を特定できなくなり、交尾が阻害されます。
- 雌成虫は交尾しないと産卵できないため、次世代以降の密度が低下します。
- ディスペンサーを4月中旬に設置すると、栽培期間を通して果実への寄生虫数が大幅に減少し、化学農薬による慣行防除と比べ高い防除効果が得られます。
- 本剤は、2026年春から、信越化学工業（株）から「フジコナコン®」として販売が開始されます。



フジコナカイガラムシと「すす病」による被害



交信攪乱剤(ディスペンサー)と設置作業イメージ

※本研究は国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構、福岡県、島根県、信越化学工業（株）等と共同で実施しました。

豚ふん堆肥、鶏ふん堆肥の窒素肥効評価ツールの開発(土壌化学部)

これまでに、家畜ふん堆肥の窒素肥効評価法を開発し、これに基づく速効性窒素（1か月相当）や緩効性窒素（以降2か月間に相当）等の実効的な肥料成分を記載した「岐阜県堆肥供給者リスト」を県HPで公開しています。この窒素肥効は、地温30℃相当で表示していますが、鶏ふん堆肥や主に密閉縦型コンポで製造した豚ふん堆肥では地温により肥効が変化します。そこで堆肥の施用時期に応じた窒素肥効が計算できるツールを開発しました。

○操作法

- 「岐阜県堆肥供給者リスト」より堆肥の成分を入力
- 施用量を入力
- 参照するアメダス地点を選択
- 堆肥施用や栽培スケジュールを入力

以上により窒素の供給パターンが表示されるとともに、期間ごとの窒素供給量や他肥料成分の供給量が表示されます。Microsoft 社製 Excelで作成しており、農業技術センターHPからダウンロードできます。堆肥活用のツールとして利用ください。

リンク「岐阜県堆肥供給者リスト」

水分	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
	窒素	リン酸	カリ	石灰	苦土	無機態窒素	AD可溶有機物	AD可溶窒素	
%	現物1kg当たりの成分kg							乾物あたりmg/g	
	21.7	37.5	48.3	19.8	45.9	15.4	8.7	445	34.2

手入力

施用量kg/10a: 300

成分量kg/10a

窒素供給量

入水～穂肥	2.41
穂肥～成熟	0.62
リン酸	14.5
カリ	5.9
石灰	13.8
苦土	4.6

アメダス参照する地点: 岐阜 (平均気温: 16.4℃)

ブルダク

施用日: 5月16日

入水日: 6月1日

穂肥日: 8月13日

成熟期: 10月10日

窒素供給パターン

ver.1.0

豚シート 鶏シート 独自温度

アグリビジネス創出フェアin東海

令和7年12月10～11日に東海地域の産学連携支援の一環である「アグリビジネス創出フェアin東海」が名古屋大学野依記念学術交流館で開催されました。

1日目は企業、大学、公設試など36機関・48ブースの展示が行われ、350名以上が参加する中で、当センターからは土壌化学部および花き部が、それぞれ夏秋トマトの施肥設計支援システム、フランネルフラワーの出荷予測技術等の展示を行いました。また、果樹・農産物利用部からはカキ果実の日持ち性AI判定装置の開発等、2つの共同研究にかかる展示を行いました。

2日目には、東海4県の試験研究機関が連携するアウトリーチ活動として、「気候変動に対して取り組んでいる農業分野の研究開発」をテーマにシンポジウムが開催され、各県の取組み状況や成果についての講演が行われました。当センター作物部から「高温登熟性に優れる水稲早生品種「清流のめぐみ」の育成」についてを発表しました。



令和7年度 農業技術センター研究成果発表会を開催！

令和7年度の試験研究成果発表会を令和8年2月26日に当センター内で開催しました。当センターから「プラスチックを使用しない肥料での水稲栽培に向けて－ノンプラ肥料からの窒素の溶出把握」をはじめ6題と農業経営課園芸技術支援係から「ねおスイート（天下富舞）の技術確立に向けた現地の取組」の1題、全7題を発表しました。また、成果の実物およびポスター等の展示も行いました。当日は、各地域のJA・市町・県農業普及課職員など80名が参加され、成果の活用や普及段階での課題、試験への要望等について多数のご意見をいただきました。成果の普及については関係機関と連携・協力しながら迅速に行うとともに、いただいたご意見を参考に研究開発や技術支援を進めてまいります。



所長挨拶



検討会の発表



発表に対する活発な検討

人事異動(令和8年4月1日付)

よろしくお願ひします。

転入者	新所属	旧所属	転出者	新所属	旧所属
神尾 真司	所長	中山間農業研究所	石垣 要吾	農業経営課	所長
木村 美穂	総務課長	自動車税事務所	小枝 里栄	消防課	総務課長
金子 裕矢	作物部主任研究員	新規採用	荒井 輝博	農政課	作物部
雨宮 剛	花き部主任専門研究員	国際園芸アカデミー	福田 富幸	中山間農業研究所	花き部
前田 健	野菜部 部長	(野菜部)	大原 藍	恵那農林事務所	花き部
杉原 鷹彦	野菜部専門研究員	農政課	安田 雅晴	農政課	野菜部 部長
荒深 七星	果樹・農産物利用部研究員	新規採用	浅野 健太	農産園芸課	果樹・農産物利用部
吉信 禎人	土壌化学部主任研究員	農産物流通課	古田貴世佳	農産物流通課	土壌化学部
神谷 克巳	病理昆虫部 部長	病害虫防除所	堀之内勇人	中央家畜保健衛生所	病理昆虫部 部長

岐阜県農業技術センター

〒501-1152 岐阜市又丸729-1 Tel 058(239)3131

ホームページ <https://www.g-agri.rd.pref.gifu.lg.jp/>

